

令和元年度

第1回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時：

令和元年5月29日（水） 10時00分～12時00分

■場所：

草津市役所 1階 101会議室

■出席委員：

青木委員、奥村委員、森委員、長束委員、熊川委員、白石委員、河口委員、上原委員、村北委員、黒川委員

■欠席委員：

福田委員、清水委員

■関係人：

玉川幼稚園 居松園長、常盤幼稚園 徳田園長、老上幼稚園 中島園長

■事務局：

子ども未来部 田中部長、河合副部長
子ども・若者政策課 岩城課長、門田課長補佐、笹渕主事
幼児課 永原課長、前田参事

■傍聴者：

0名

1. 開会

【田中部長】

日ごろから本市の児童福祉行政を始めといたしまして、市政各般にわたりまして、御理解と御支援を賜りますことに対しまして、まことにありがとうございます。また、このたびは御多用のところ、草津市立認定こども園の園名等選定委員会に御就任いただきまして、まことにありがとうございます。

さて、本市では平成27年の3月に策定をいたしました草津市幼保一体化推進計画に基づきまして、就学前の教育、保育の質の確保、それから待機児童の解消、3歳児幼児教育の推進、そして地域における子育て支援の充実を目的といたしまして、公立保育所と公立幼稚園の認定こども園への移行を進めてまいりました。

平成28年4月には市内で初めての公立認定こども園といたしまして、旧の第五保育所を矢橋ふたば

こども園として、そして旧の笠縫東幼稚園を笠縫東こども園として開園をいたしましたところでございます。

また、平成30年4月には旧の草津保育所と中央幼稚園を統合いたしまして、草津中央おひさまこども園として開園するとともに、旧の第六保育所と大路幼稚園を統合し、民設民営方式でたちばな大路こども園を開園いただいたところでございます。

さらに、本年の4月には旧の志津幼稚園を志津こども園、旧の山田幼稚園を山田こども園として開園をいたしましたけれども、これらの認定こども園のうち、民設民営方式で開園をいたしました、たちばな大路こども園以外の5つの公立のこども園につきましては全てこの委員会におきまして、園名、園章、園歌について御審議をいただいていたところございまして、今年度につきましても来年4月に開園予定の玉川幼稚園、常盤幼稚園、老上幼稚園の園名、園章、園歌について皆様に御審議をいただきたく存じます。

今般、大津市そして川崎市と今後の未来を担う子ども達が犠牲となる凄惨な事故や事件が発生をいたしておりますけれども、これらを防ぐ手だての一つとして地域の目や見守りが大事ななというふうに思います。そういった意味におきまして、新たに開園するこれらの3つの認定こども園が地域の皆様から末永く愛され、そして親しまれるとともに、子ども達が心豊かにたくましく成長する場となるような願いを込めた園名、園章、園歌を選定していただきたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては率直な御意見を賜りますようお願いを申し上げます、簡単ではございますけれども、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 委員紹介

各委員、事務局が自己紹介を行った。

3. 草津市立認定こども園園名等選定委員会の概要について

【事務局】

<資料1-1、1-2について説明>

4. 委員長、副委員長の選任、職務代理者の指名について

委員より事務局提案を求める意見あり。

事務局から青木委員を委員長に、森委員を副委員長に提案し、一同了承。

青木委員長より奥村委員を職務代理者に指名された。

5. 草津市立認定こども園の園名等の選定について（諮問）

田中部長から委員長に諮問書が渡された。

6. 議事

（1）草津市の幼保一体化（認定こども園）の取組について

【事務局】

<草津市幼保一体化推進計画（概要版）、要覧、選定実績 について説明>

【関係人】

<参考資料 について説明>

（2）草津市立認定こども園の園名・園歌について

【事務局】

<資料2 について説明>

【委員長】

保育所のほうはかつて園歌、歌というものがなかったために、保育所をこども園化していく中では統合を行って新たに新しい園歌をつくりましょうということがかつてありました。しかし、今回のように玉川、常盤、老上の3園ともにもう既に幼稚園の中で歌われている園歌がございますので、事務局案の①のほうでは既存の園名、園歌を継承してはどうかということがございます。その際、例えばですけれども、玉川幼稚園が玉川こども園になる。そして玉川幼稚園の園歌ですね、歌のほうですと皆様の手元にこういう楽譜付の歌詞が載っているものがあるのですが、一番最後に「玉川幼稚園」とありますけれども、ここが「幼稚園」と言っているところを「こども園」というふうになったらどうでしょうかという。そうすれば、幼稚園がこども園にかわった部分だけの変更されるということになります。これが事務局の案の①です。

事務局案の②のほうはもう全く新しい園名を募集するというもので、そうしますと当然園歌も、新たな園名に合わせて編曲あるいは作曲されていくという手続にいくということです。これまでの幼稚園型の草津市の認定こども園では案の①のほうで選定されてきた経緯がありますので、今回もいかがでしょうかという、そのような御提案です。

少しB委員に専門的な音楽の立場から、前回ですね、「幼稚園」というのは音符の中に1つの音符に「幼」と入れて、「幼稚園」というのができるけれども、こども園になると、「幼稚園」みたいに「こども園」になるので、編曲とかちょっとアレンジしないと歌えないという事例がちょっと前回あったんですね。B委員に少しその音符と、もし事務局案の①であるとしたら困難が生じないのかどうか、玉川、常盤、老上とちょっと見ていただいて御意見をいただいてもよろしいですか。

【B委員】

玉川幼稚園の園歌ですが、ここは音符の下に1つずつ「幼稚園」とついていますので、その「幼稚園」を「こども園」に変えて何ら問題はないように。

【委員長】

玉川は可能であるという。

【B委員】

大丈夫です。常盤幼稚園ですが、最後の部分ですね、「楽しい常盤幼稚園」。ここが先ほど委員長がおっしゃった、「幼」で一文字だけど、「こども」になると「こど」って入るという、そこだと思んですが、その一つの御提案ですが、「幼稚園」というふうにそこはなっているので、「こども園」と同じようなリズムで先ほどの玉川幼稚園と同じリズムで入れられたら問題はないと思います。

【委員長】

四分音符が「こ」になって「ども」が。

【B委員】

「園」はそのままで「幼」のところに「こど」を入れて、「稚」のところが「も」ですね。

【委員長】

「稚」が「も」になるんですね。「こど」が入って。

【B委員】

そうです、そこをまた。

【委員長】

「園」は同じですね。

【B委員】

はい。そうです。

次の老上幼稚園も、一番最後の部分に「幼稚園」とそこはそのまま「こども園」で終われそうですね。

【委員長】

ここはできそうですね。

子どもが小さな子どもですね、幼児が歌うのに、常盤の変更というのは特に問題はなさそうですね。

【B委員】

ないと思います。園長先生が。

【委員長】

園長先生いかがでしょう。

【常盤幼稚園園長】

いいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。B委員、以上で。

【B委員】

はい。

【委員長】

ありがとうございます。では、ちょっと事務局案も出ましたし、それから専門的な意見からも可能であるという御意見をいただきましたので、それではですね、園名・園歌を決定していくに当たり、既存の幼稚園の園名と園歌を継承する第①案か、事務局第②案ですね、新たな園名と園歌を募集するか、委員の意見を決定していきたいと思います。

お一人ずつ御意見をお聞かせいただきたいと思います。ちょっと急に当てられると、あつて思っちゃいますけど、ちょっとすみません。お名前を呼ばせていただきたいと思います。G委員、いかがでしょうか。

【G委員】 案の①ですね。幼稚園をこども園に変更するだけでいいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。案の①ですか。よろしいですか。

【G委員】

はい。

【委員長】

はい。H委員は、いかがでしょうか。

【H委員】

私も案の①で結構かと思います。全く余談なんですけどもね、もう私、常盤協議会のところに、何かついていますね。「人と地域が輝く」。

【委員長】

はい。

【H委員】

これは、他のところにはついているところはありませんけれども、すぐさま、どうこうじゃないですけど、子ども達に未来に輝くとか、ちょっとこうあれば、すぐにできないと思うんですけど、何か形容詞的なのが前に、子ども達に託す意味と、そういうふうな言葉がちょっと入るとどうなのかなという感じは個人的な印象ですけどもありました。①で全くこのままで結構なんですけども、ただそういうふうなことも今後何か他にありますので、子ども達が未来に向かう、そういう園というか。

【委員長】

キャッチフレーズ。

【H委員】

そんな感じなところが検討されてもいいんじゃないのかなというのはちょっと感じました。

【委員長】

ありがとうございます。園名としては。

【H委員】

園名としては、別にこども園で結構です。

【委員長】

こども園でということですね。キャッチフレーズと取るのか、ちょっとPTAとか保育の中で・・・いい印象ですね。

【H委員】

検討されたらなという感じです。

【委員長】

ありがとうございます。J委員いかがでしょうか。

【J委員】

私も案①の幼稚園をこども園にするほうがいいかなと思います。特に常盤幼稚園の場合、おじいちゃん、おばあちゃんもたくさんおられまして、地域に長い間、常盤幼稚園も親しまれていますので、新しい名前を新たに募集するというよりかは、こちらの常盤こども園にしたほうがいいかなというふうに考えています。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、A委員、いかがでしょうか。

【A委員】

私も案①でいいです。

【委員長】

はい、①で。わかりました。B委員、いかがでしょうか。

【B委員】

はい。私もそれでいいかと思います。

【委員長】

C委員、いかがでしょうか。

【C委員】

はい、同じく①で。この園長先生方のお話の中にもやっぱり地域に根差すとかそういう言葉もありましたし、長い間親しまれている名前でもありますので、また幼稚園型ということですので、そのままいけるということで混乱なく進むのではないかなというふうに思っております。

【委員長】

ありがとうございます。D委員はいかがでしょうか。

【D委員】

私もこども園だけでいいと思います。

【委員長】

案①のほう。

【D委員】

はい。私は今、子ども関係の活動に参加させてもらったんですね。小学校中学校の卒業式入学式に参加させてもらっているんですけども、そのときに3年前だったんですけども、ちょうどふたば保育園がかわった年でしたね。

【委員長】

はい。

【D委員】

私が子どもを、大分昔の話なんで第五保育所に預けていたんですけども、どこだろうと思っていたんですけども、2年目になってやっとわかったということで。名前が変わったんだなと認識したんで。幼稚園なんか特に年数が長いんで、そのままのほうがいいかなと思います。

【委員長】

ありがとうございます。E委員、いかがでしょうか。

【E委員】

はい。私も案①がいいんじゃないですかね。

【委員長】

ありがとうございます。副委員長。

【副委員長】

皆さんの御発言のように、地域に親しまれている幼稚園ですので、それを継承していくという意味で幼稚園がこども園になったほうが受け入れやすいし、いいんじゃないかなと思います。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、皆様に一通り御意見いただきました。もう既に地域に親しまれ、長く愛されてきた今までの名称をこども園に変更するにとどめるという御意見が多いことから、既存の園名・園歌を継承し、このたび、募集を行わないということによろしいでしょうか。

<一同了承>

【委員長】

では、園名・園歌につきましては、幼稚園をこども園に変更するということにしたいと思います。

それでは、園名・園歌につきまして、ただいまの委員会の意見をもとに選定理由を私委員長と事務局で調整をし、答申案に加えさせていただき、当委員会の答申といたしますので、御承知ください。よろしいでしょうか。

御異議がございませんので、次に進ませていただきます。

それでは、後半の審議を始めたいと思います。

その前に、事務局のほうから配付資料に少し訂正があるということで、事務局からお願いいたします。

【事務局】

すみません。参考資料という資料で、幼稚園の概要を書いたものがあるんですが、そのうちの老上幼稚

園という資料を御覧いただきたいですけれども、地図とか人数とかが書いた資料になるんですけれども。先ほど園長先生が説明させていただきましたこの資料ですけれども。ややこしくてすみません。

この老上幼稚園の資料の上のほうに在籍状況と書いていまして、平成31年4月1日現在137名と書いてあるんですけども、これ間違えておりましてすみません。正確な数字としましては、この31名と56名を足した87名になります。で、現在は88名になっているんですが、4月1日現在87名ということですので、おわびをしまして訂正をさせていただきます。すみません。よろしく願いいたします。

(3) 草津市立認定こども園の園章について

【事務局】

<資料3について説明>

【委員長】

美術担当と申しますか、副委員長、もし何かございましたら言っていただけますか。

【副委員長】

今、事務局から、全体の説明がありましたことが、昨年度の委員会で委員からの意見をまとめてお話しいただきました。

昨年度に、協議の内容を引き継ぐとしましたら、この参考資料の裏面にあるような、玉川幼稚園、常盤幼稚園、老上幼稚園の現在の園章をベースに、こども園の園章に引き継いでいったほうが、園名と同じように継続・継承がしやすいのではないかなということ、募集にあたりまして、全く規制なく募集をする場合に多岐にわたって、選ぶときの価値観が、さまざまになってしまうわけですね。皆さんが選定されるときに、200ぐらい来ましたら更にそうなりますし。ある程度の規定があって、その中で工夫していただくということが、選びやすいし製作される応募者にとっても、それから園名を決めた協議の内容を踏まえた上で、園章も同じようなコンセプトで選んでいくという形でいいのではないかなと思っています。

玉川小学校につきましては玉川幼稚園とは随分形が変わりますので、玉川幼稚園を継承していくこども園ということですので、これまでのなじみのある形のままでいけるのではないかなと思います。もちろんこの形がどうも評判が悪くて変えてほしいという思いが園や、保護者の方に強くある場合は、また再検討が必要かとは思いますが。昨年度までの経過から考えますと、事務局から提案いただいたことですっかりいけるのではないかなと思います。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、ただいまのお話も踏まえてお一人ずつ御意見を頂戴したいと思います。E委員からお願いします。

【E委員】

案①で。

【D委員】

変わらないほうが良いと思います。

【C委員】

同じく案①で、変わらないのではないかと思います。

【B委員】

私も同じく案①であまり変更のないほうが良いと思います。

【A委員】

私も案①が良いと思います。

【J委員】

私も案①で。そのほうが小学校に行くときにもスムーズかと考えます。

【H委員】

案①で結構です。私も常盤幼稚園で常盤小学校で、息子も常盤小学校でしたから、これ見ると懐かしいなというか、これが一番いいのかなと思います。

【G委員】

私も案①でいいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。園章の募集方法について皆様からの御意見をまとめたいと思います。現行のもので、多少こども園に向けた形にしていくという御意見が多いことから、既存の幼稚園の園章を利用し、一部だけデザインを募集するというところでよろしいでしょうか。

<一同了承>

(4) 草津市立認定こども園の園章について

【事務局】

<資料4-1、4-2について説明>

【副委員長】

資料4-1の裏面のデザインでの募集方法について、玉川の部分だけ、クエスチョンが3カ所ありまして。クエスチョンの位置に好きな文字を入れてくれと言われても、玉川の「玉」も入れたい、「こども園」も入れたいとなると、この3カ所をどのように入れるのかというのは、これは問いかけがかなり難しいのではないのでしょうか。

【委員長】

そうですね。他は真ん中だけが大きく開いています。

【副委員長】

ではどうしたらよいかと言われると、ちょっと困るのですが。

【委員長】

枠の外側にはみ出すということは想定はしないのですか。

【副委員長】

以前の園章も少し出てましたね。

【委員長】

前は少し上に。

【副委員長】

何かはみ出した園章もありました。

【委員長】

草津中央おひさまこども園もそうでしたね。

【副委員長】

そのようなものも許容される表現の仕方があればと思います。

【委員長】

そうかもしれないですね。この三つ葉マークというのはこの3つの中に限定するのか、それとも、この枠も必ず使うけれども、周囲に何かあってもよい図案を考えることを想定して。

【事務局】

資料3にある山田こども園の園章は、もともと「山」という漢字を使用しているマークでしたが、「山田」にして下にこども園。マーク、そして外枠からはみ出た形をしていますので、今回も同じようにはみ出してもよいと考えております。

【副委員長】

園章の例の表現を、クエスチオンのところに何か入れるようにと描くとそれ以外だめなのかと思ってしまいます。

【事務局】

資料の例では、はみ出してはいけないと制限がかかっているように見えてしまうので、少しここの表現を考えてみます。

【副委員長】

例えば事例として、前回募集時はこのようなデザインもありましたと参考に記載したらいかがですか。

【事務局】

わかりました。そうしましたらこの募集要項につきましては、枠から出てもいいことがわかるような表現に変えさせていただきます。

【委員長】

他にございませんでしょうか。

【副委員長】

資料4-2の図案の応募用紙ですが。図案を大きくしてあるのですが、常盤幼稚園の松葉を拡大したときにギザギザがものすごく目立つので直してください。

【事務局】

デザインについては製本する段階できれいにさせていただきたいと思います。

【D委員】

玉川幼稚園の形は、もともと少しゆがんでいますか。

【事務局】

もともとの手描き感があり・・・、微妙に葉っぱが違う形になっています。

【委員長】

いかがでしょうか。玉川幼稚園のこの枠についてなのですが、今御意見いただいたように、今回募集するにあたって少し手描き風のこの味わいを残すのか、ちょっと何て言うんですか、機械的に少し修正させていただいて募集をかけるのか、いかがでしょう。どうなのでしょう。

【事務局】

もともと園章をつくる時なんですけれども、職員でつくったりするのにちよっとう、当時の園長先生が描かれたりとか、今中央おひさまこども園ですけど、中央幼稚園のときも発祥のときはほんまに鉛筆でこうやって描いてチューリップを描いたやつが発祥で、そのあといろいろ校正してPTAさんがきちっとしていただいたという流れがあります。

【委員長】

直していったような、修正かけていったような経過があるのですね。

【事務局】

そうですね。これはだからその当初誰かが、萩の玉川と言ったらやっぱり玉川のほうの名称だったというその歴史とかもあって、これかなという感じなので、手描き感が今残っている感じになっています。

【委員長】

今回を機に少少フォームを整えるようなことをやったんですかね。

【事務局】

実際この決まったあとに使用されるときも、例えばステージのどんちょうのところにマークが入ったりとか、旗をつくったりとかあるんですけど。例えば市の市章ですと、ここが何センチでと、細かく決まってるんですけどそこまでは決めておりません。ちよっとう形もかっちりしていなくて少し丸みも帯びたりとか、そういう使われ方を今までもしております。それで使われ方としては、もしきちっと決めてもそれをベースにしながら若干。例えばこの線が幅が広くちよっとうこれよりも広くなったりとか、細くなったりとかいうのが使われるときは出てきたりとか。そういう形ではさせていただいています。

【委員長】

微調整というような感じで。

とりあえずこれで募集をかけるときはこれでいってみますか。それとも、募集の段階でもう少し整えて募集するかですね。応募要項に出るわけですね。この上に図案画を少し図案を考えてくださいというものになったので、皆さんの御意見がもう少しあれば・・・。

特にないようであれば、このまま少し事務局と調整させていただく形で。

【事務局】

そのようにさせていただきます。

【委員長】

それでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。他に募集要項につきまして、何かございませんでしょうか。これでもう募集が始まってしまうと修正がきかなくなりますので、もしお気づきの点があれば。ただいま、いただきたいと思います。

それでは、よろしいでしょうか。ただいまの皆様の御意見をいただきまして事務局で作業をお願いしたいと思いますが、もう一度確認します。作品イメージ例の「玉」「幼」の中には図案の作成の仕方也有可能であるような、そんなイメージが出るようにもうちょっとこの募集要項のところに図案を載せていただくことと、それから常盤幼稚園のところの松葉があまりにもギザギザなので、もう少し滑らかな線にさせていただいてからということです。玉川のこの手描き風な形というのは一応今はこれを使われているということで、これで一旦募集をかけてみますか。

【事務局】

一回、この形がばらばらになってる図をきれいにできるかどうか一回やってみて、それで検討させていただきます。きれいな状態で見せると一番すっきりはします。

【委員長】

そうですね。はい。わかりました。それでは、園章の募集に向けて、引き続き事務局で作業をお願いしたいと思います。

これで議事を終了したいと思います。本日予定をいたしておりました案件は以上ですが、最後に事務局から何かございますか。

<事務局「なし」>

ありがとうございます。それでは、全ての議事が終了いたしましたので、事務局へお返ししたいと思います。

7. 閉会

【岩城課長】

さまざまな御意見をいただきまして、ありがとうございました。園名と園歌につきましては、本日の審議会につきまして決定していただきました内容をまとめまして、6月の中旬に書面によって市長宛てに

答申をいただきます。

また、園章の募集につきましても、本日審議いただきました内容を踏まえまして、7月1日から8月30日までの期間で園章の募集をかけていただきます。広報、ホームページでも御案内をいたしますので、委員の皆様も広く周知をいただけたらと思います。

なお、次回以降の日程につきましては、初めに説明させていただいた資料1-1のスケジュールのところに載っている草津市立認定こども園園名等選定委員会スケジュールのとおりになっておりますので、御確認をお願いいたします。次回の開催予定は園章の募集期間の都合上、9月下旬に開催をさせていただきます。また日時が決まりましたら、改めて御案内をさせていただきます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、御出席いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

本日は本当にさまざまな御意見をいただきまして、ありがとうございました。これで私どももまた次の段階に進むことができますので、意見を反映して進めさせていただきます。本日はありがとうございました。